

## 平成 22 年度 特許ビジネス市シーズ情報

整理番号

事務局使用欄

1	シーズタイトル	一枚の布を一本の裁断線だけで裁断して縫製する鍔付き帽子
2	シーズ提供者 連絡先住所 TEL/E-mail/URL	加納 正子 埼玉県さいたま市中央区上峰3-7-22-302 048-854-5287 sun-makko@jcom.home.ne.jp
3	支援者 (特許流通AD等/連絡先)	埼玉県特許流通アドバイザー 北島 恒之 氏 知的財産総合支援センター埼玉 048-647-4245
4	特許番号 等	特許第4518433号

### 技術情報

5	技術分野	⑦ 生活文化	6	機能	⑭ その他
7	利用分野	縫製	8	適用製品	帽子のパターンシート
9	本技術の完成度	③ 実用段階			

### 10 本技術の特徴

#### ① 従来技術・類似技術の問題点

一般に、布製鍔付き帽子は、M、L、Sあるいは大、中、小などの大まかな頭周りサイズの作図したパーツごとの型紙を使用して、それぞれのパーツに付けた裁断線および縫製線に沿って裁断・縫製して製作されている。

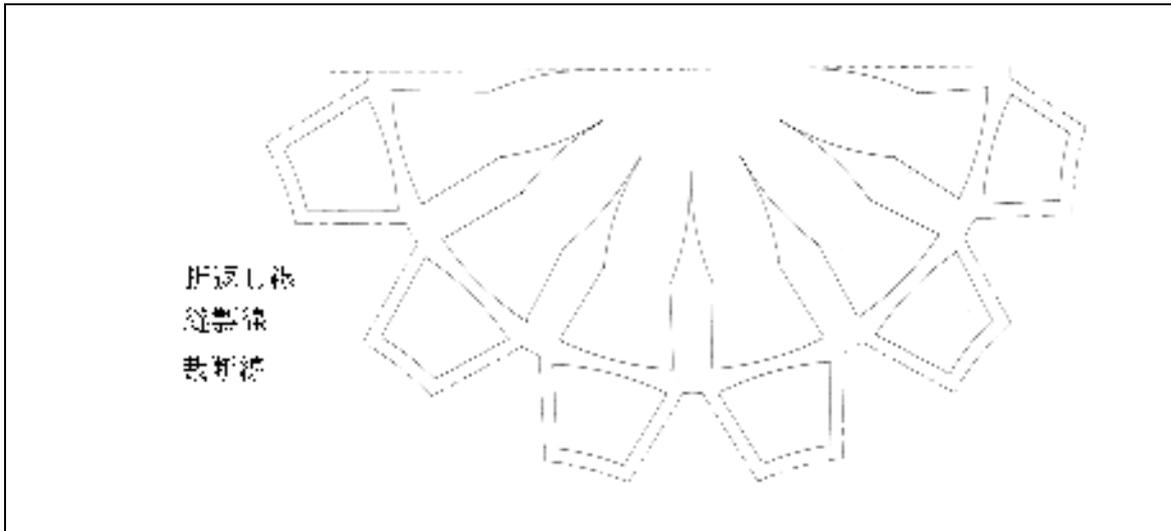
#### ② 本技術の特徴・効果 / 類似技術との対比

本技術による鍔付き帽子の製作方法は、一枚の布地に、ダーツをとるための複数の縫製線と、その縫製線を囲む一本の裁断線を設け、裁断線に沿って布地を裁断し、対になっているダーツ縫製線を縫い合わせて鍔付き帽子を作製するので、パーツごとに裁断線と縫製線を設け、パーツを接ぎ合せて作製する従来の帽子の縫製方法に比べて裁断および縫製に手間が掛からない。さらに、縫製に不慣れな者でも簡単に個々の頭周りに沿ったサイズで型紙を作図することや、生地転写した帽子の縫製線や裁断線を補正することもできる。

また、型紙図を見開きで透明性のあるファイルシートに転写して縫製用パターンシート（特許第3812845）を作製し、より効率よく型紙を布に転写することができる。

#### ③ 特記事項・添付図面・製品外観図・効果を示す表等

下図は、本技術の1例であり、12本のダーツ線がある鍔付き帽子の型紙図である。



特許情報		
11	発明の名称	鍔付き帽子の製作方法
12	特許権者(出願人)	加納 正子
13	特許番号 (公開番号/出願番号)	特許第4518433号
	出願日(優先日)	平成20年12月17日
14	海外出願 特許番号等	なし

**15 代表的な独立請求項の記載**

【請求項1】

一枚のシートから鍔付き帽子を製作する方法において、トップクラウン中心から6、8、9、10、12のいずれかに等分する分割線上に、トップクラウン中心から所定の等距離のトップクラウン外周点と、トップクラウン中心から所定の距離にあるクラウン外周点を定め、トップクラウン外周点をダーツ先端とし、隣り合う分割線の中心角を2等分する中央線に直交する辺で、頭周りを上記分割線の数の2倍の数で割った長さの辺の先端がトップクラウン中心からクラウン外周点までを半径とする円周と一致する点をダーツ始点とし、ダーツ始点とダーツ先端を結んでダーツ縫線とし、クラウン外周点に所定の鍔の長さを加えた点を鍔外周点とし、トップクラウン中心から鍔外周点までを半径とする円周と、ダーツ始点を通る半径方向直線との交点を鍔仕上がり線上の円周点と定め、この円周点からダーツ始点までの直線を鍔縫線とし、分割線ごとに、分割線の両側にそれぞれダーツ縫線および鍔縫線を軸対称に設け、さらに、隣り合う分割線間の上記円周点を繋いで鍔仕上がり線とし、鍔仕上がり線に所定の折返し代あるいは縫代を加えた裁断線で裁断した後、分割線ごとに、分割線の両側にあるダーツ縫線および鍔縫線をそれぞれ重ね合わせて縫製することを特徴とする鍔付き帽子を製作する方法。

16	<b>審査請求有無/審査経緯</b>	審査請求 有 (審査請求日：2009.1.26) 2009.3.31 拒絶通知 2009.7.16 拒絶査定 2009.9.29 審判請求 2010.3.11 登録審決  (中小企業向け先行技術調査制度の利用状況) 利用実績 有り
17	<b>関連特許 特許番号等</b>	特許第3812845号 特許第4114817号
<b>18. 先行・類似技術の調査結果/特許性の判断内容</b> (代表的な先行・類似技術の特許番号とその内容 等) 先行技術文献1 : 実用新案登録第3114437号 一枚のシートに、同じ形状である複数(6つ)の被覆片を、天井部を中心に放射状に設け、隣接する被覆片同士を連結して頭部を被覆するドーム部を形成する。 上記文献1は隣接する被覆片を連結する方法に関するものであるが、本技術は、クラウンおよび鏢の形状を作図する技術である。		

<b>ビジネスプラン</b>		
19	<b>特許ビジネス市に期待する連携内容</b>	① ライセンス先の開拓 ② 共同研究先・用途開発先の開拓 ③ 販路拡大・業務提携先獲得
20	<b>ライセンス等の実績の有無</b>	実績 なし
21	<b>各種助成制度の利用状況</b>	(産学連携・自治体等の助成制度等の利用・申込状況、他機関との連携内容等) なし 特許登録料1～3年免除

## 22 事業化に関する情報

### ① 追加開発の要否・具体的内容、事業化に向けて解決すべき問題点

現時点での追加開発は特に必要なし。

基本となる鍔付き帽の縫製用パターンシート（特許第3812845号）を用意し、型紙をもとに倣い図形を描くための補助具（特許第4114817号）を使用することにより、個々の頭周りに合わせて縫製線を縮小あるいは拡大することや、好みや用途によって鍔の形状を変更することが容易になる。

### ② 設備投資の要否・設備投資額、提供可能な中間材の規模・コスト

設備投資の必要はなし。

提供可能な中間材の規模・コスト

鍔付き帽の作図に使用すると便利な円形方眼紙

A3サイズ 紙に印刷 ￥10,000/100枚

鍔付き帽の縫製用パターンシート

A3サイズ 見開きファイルシートを型抜き ￥30,000/100枚

型紙をもとに倣い図形を描くための捕縄具

合成樹脂シートを型抜き ￥30,000/100枚

（上弦約21cm 下弦約17cm 高さ約10cm の扇型）

## 23 本技術を活用したビジネスプラン

### ① 製品・サービスの概要・特徴（従来品・競合品と比較した優位性等を記載）

頭周りにぴったりする自分好みの鍔付き帽を容易に作図でき、しかも、縫製が容易なので手作りの楽しさを感じることができる。

### ② 対象とする市場・分野・顧客等（主な顧客、提供できるメリット等を記載）

中学および高校の家庭科の実習課程や手芸ショップが開く講習会などで本技術に接することにより、縫製に馴染みのなかった子供たちや若者たちに創造力が生じ、物作りへの関心が高まっていくものと考えられる。

### ③ 競合商品・競合相手の状況等

従来から、紙で作図した型紙が販売されている。

手作りするより廉価な既製品が販売されている。

### ④ 売上・利益計画（市場規模、推定製品シェア、成長性等を記載）

型紙販売における20%のシェアを想定している。

手間隙掛けて手作りするより既製品を買った方が安いと考えている人が多いためか、縫

製関係の売り上げにおいて型紙の販売金額が占める割合はさほど大きくない。しかしながら、本技術（特許第4518433号）や縫製用パターンシート（特許第3812845号）および型紙をもとに倣い図形を描くための捕縄具（特許第4114817号）を活用することで、手作りの良さや楽しみが広がり、結果として、生地や糸およびミシン等、縫製に関する物品の販売促進に繋がるのではないかと考える。

、

事業計画:	第1期(初年度)	第2期(2年度)	第3期(3年度)	備考:
市場規模(千円/年)				
製品シェア(%)				
製品売上高(千円/年)				